



岡山県高等学校
P T A 連合会

事務局

〒700-0824

岡山市北区内山下
1-14-19

TEL (086)
234-1640

FAX (086)
234-1835

「子どもの成長を見守る」

岡山県高等学校 P T A 連合会会長
岡山地区連合会会長

福 武 孝 之



平素より皆様方には P T A 活動に大変なご協力を頂戴し心より感謝申し上げます。会報発刊にあたり今回は「子どもの成長を見守る」と題して僭越ではありますが筆を執らせて頂きたいと思っております。

「かわいい子には旅をさせよ」(子どもは、甘やかして育てるより、手許からはなしてつらい経験をさせ、世の中の辛苦をなめさせた方がよい。)そんなことは解っているが、つい手を出し、口を出してしまうのが親の常です。

例えば我が子が忘れ物をしましたとします。親は慌てて学校に届けに行くでしょう。しかし、それによって九死に一生を得た子どもはどうでしょう。翌日から親も忘れ続ける人生です。きっと親が助けてくれる、助けてくれないければ、それは親が悪い。いつの間にか忘れ物をしたことが親のせいになっていきます。では思い切って見て見ぬふりをし

てみます。さぞ困っただろうと思いつつ、子どもに聞いてみると「友だちから借りた」と一言。意外な答えでした。困り果てたあげく自分の力で何とかした上に友達関係まで強化してきたのです。私たち親は、この「自分で何とかする」という能力を育てたいのではないのでしょうか?忘れ物をしない子を育てようとして、トラブルに対して自分で対応できない子を育ててしまつてはいないでしょうか?上履きを忘れたなら裸足で過ごせばいい、教科書を忘れたら叱られればいい、弁当を忘れたら飢えればいいのです。その子はきっと、翌日からそれを忘れなくなるでしょう。しかしこれで安心はできません。この繰り返しを何度も何度も続けることが子どもの成長であり親の闘いなのだと思います。

さて次に「見守る」とはどういう意味か考えてみましょう。わたしが思うに「見る」と「大切」と「守る」との危うさを示しているのではないのでしょうか?子どもたちをただひたすらに守るというのなら、ただ「守る」という言葉で良いでしょう。「見守る」という言葉の意味は、見るという行為で守ること、つまり手出しをしないことなのかもしれません。子どもたちを見ること(観察)はとても大切なことですが、見れば見るほど救いの手を出したくない、見ます、それをグッと堪えて見守る、のです。実はこれは愛情溢れる親にとって拷問の様なことなのです。何しろかわいいわが子が失敗し苦しむ姿を見なければならぬのですから。しかも分かって居ながらみすみす見過ごすのです。しかしここで大切なことは、子どものことを見ていなくて見過ごすのと、分かっているであえて見過ごすのは全く違うということなのです。前者はわが子が失敗したことすら知らないのに対し、後者は、その失敗の悔しさや苦しみを子

どもと分かち合うことが出来るからです。見過ごす親も苦しむのです。ここにも親の闘いがあります。この闘いこそが子どもを育てるといふことなのかもしれません。

私たちが何気なくよく使う慣用語に「転ばぬ先の杖」というのがあります。これはご存知の通り、失敗しないように、前もって用意しておくこと、という意味です。それに対し、こんな慣用語もあります。「失敗は成功のもと」。こちらは失敗しても、それを反省し欠点を改めればかえって成功するものだ、という意味になります。どちらも素晴らしい先人の言葉ですが、一方は、失敗はマイナスだとし、もう一方は、失敗はプラスになると言っています。一見、矛盾しているように思えますが、私はこう考えるのです。人生の間で使うタイミングが違うのではないかと。若いうちは大いに失敗し学べばよいし、歳をとってからはその人生経験を生かして何事にも前もって準備をするべきである。と言っているのではないのでしょうか?使われている言葉を注意深く見ればわかります。子どもたちにとって、杖をつくのはもともと先で良いのです。赤ちゃんがはいはいからつかまり立ちをして、やっと自分の力で歩こうとするときに、杖を持たせてはいけけないのではないのでしょうか?

失敗を恐れず、わが子を信じて我々も闘っていきましょう!

玉野高校は四方を海と山に囲まれたとても風光明媚なところにあります。昔から地域に愛され育まれてきた学校です。土地柄でしょうか、とても穏やかでのんびりとした教育環境にあります。

子供たちの多くが口にするのが「学校が楽しい。」です。確かに和気あいあいと、のびのびと育っているようです。でも、こと勉強に関してはもうちょっと競争心があってもいいのではないのでしょうか。保護者の方からは「玉高に行かせてよかった。」という声と同時に「勉強や生活習慣が不安だ。」という声をよく聞きます。もうちょっと子供と向き合

「もうちょっとの努力」

備南地区連合会会長

上 西 正 幸

い、もつともつと先生と話をしてみてもどうでしょう。

先生方はとても子供たちに慕われているみたいですね。よく話を聞いてくれ親身に相談にのってくれているからでしょう。信頼できる人が身近にいるということはとても大切なことです。子供たちにとって心強いことでしょう。

みんなの「もうちょっとの努力」で本当の意味での「行つてよかった学校」「行かせてよかった学校」になるのではないのでしょうか。

お互いよく話をし理解し同じ目標に向かってもうちょっとがんばりましょう。

「簡単な事のように」

備西地区連合会会長

岡 本 正 志

オリンピックも過去最多の三八个のメダル獲得で幕を閉じました。今回の日本は、団体でのメダル獲得が多かったように思います。

皆で力を合わせてのメダル、これこそが絆の力だと思いませんか?一人一人が優しい気持ちを持てば自然と絆が繋がります。こういつた当たり前の事を当たり前に出来る大人に、当たり前に出る親にならないかならばならぬ、と考えています。

もう一度、基本的な事ですが、まず身近な所から考えると、仲間作りが大切です。地域の一



「真の自己は輝いて」

旭東地区連合会会長

青 山 浩 司

四年に一度のスポーツの祭典がロンドンを舞台に今まさに繰り広げられております。

世界各国のアスリート達のすばらしいパフォーマンスを目の当たりにするたびに驚きと感動がこみ上げてきます。そしてどの選手たちも大事な決戦を終えてマイクに向かって家族やコーチや周りの応援してくれる人々への感謝の言葉を表現しています。

誰一人として、どの国の選手でさえも全てです。心からの言葉は輝きを感じます。

「環境づくりのサポーター」

美作地区連合会会長

岡 悦 宣

本年度より、津山高等学校PTA会長を務めさせて頂き、また美作地区PTA連合会会長、岡山県高等学校PTA連合会副会長という大役を仰せつかり、改めて責任の重大さを感じております。

思えば四十年前の春、私も津山高等学校の門をくぐり、季節の移り変わりのある十六夜山を横目に、勉学は程々にし、部活動に没頭した三年間の高校生活を送りました。

今、わが子も同じ環境で高校生活を送っているのを目の当

何かに打ち込みそして何かを成し遂げる過程において人は人として思いやり・支えあい・助け合いの心を自然と身に付けて魅力ある人間へと成長することができると改めて感じ取ることが出来ます。

真の自己を確立することこそ大事だと感じます。今の高校生たちは、昨年の大震災を目の当たりにし、「思いやり・支えあい・助け合いの心」を我々大人よりも早く心に深く刻まれ、その精神をこれからどんどん育んでいくことと

手伝いをしていくことが、私達PTAの大きな使命の一つだと考えております。

「二期一会、人との出会いに感謝」

倉敷地区連合会会長

田 中 良 幸

早いもので、私がPTA活動に携わって十年目。小学校から始まり中学校を経て高校に。

「二期一会」千利休の言葉を念頭に置いて、PTAスタッフとして学校の先生方等の協力のもと、いろいろな行事に参加し、多くの人に出会えることに感謝

「PTA役員のかもち」

備北地区連合会会長

坂 本 和 弘

小学校PTA役員・中学校PTA役員と子どもと共に歩んできたPTA活動も本年で終わりになります。

我が子どもは自分の能力を信じ、夢に向け進んできた。さて、親である私は何を目標にPTA活動を始めたのだろうか？

ともすれば、「子ども達の未来のため親として最大限協力し、地域の貢献に役に立ちたい」と考えたからだ。」と答えそうです。たぶんその思いに嘘はないと自分では思っているが、果たしてそれだけだろうか？

私は、自分の子どもが学校

度を通して何度もお会いする人、さまざまな出会いの形があります。しかしPTAに携わっていないければ、一生のうち一度もお会いできない、お会いすることのない人たちがばかりです。だからこそ、出会ったその時間を大切にしています。

しながら楽しみながら私自身活動を行っています。人との出会いは、個人の財産だと考えます。より多くの人に出会い、笑い、泣き、時には怒ったりしながらコミュニケーションを習得します。子どもたちは近年特にスマホ等の普及により、コミュニケーション下手になっているのではないのでしょうか？



でどのようにがんばって、どのように成長するのかを身近で見ることが出来る。当然、我が子どもにははた迷惑なこと、いちいち親が学校に来ていなんて楽しいわけがない、それでも私はひるまずPTA活動を行ってきた。

子どもの成長にPTA役員をしていく私が役に立ったのかどうかは、まだわからない。しかし、人生の長い時間を我が子や多くの子ども達と一緒に過ごしてくれたPTA活動は本当に悔いの無い素晴らしいものであった。

平成24年度岡山県高等学校PTA連合会及び安全互助会総会報告

平成二十四年六月二十一日(木)、ピュアリティまきびにおいて開催しました。

岡山県高等学校PTA連合会功労者表彰(表彰状十二名、感謝状八十三名)を行い、次に平成二十三年度事業報告・会計決算報告・監査報告、安全互助会についての説明、平成二十四年度の新役員を紹介し、事業計画(案)・会計予算(案)を協議しました。また、総会閉会后、お二人の講師をお招きし、研修会(講話)を実施しました。



【研修会の様子】



【総会の様子】

【講話】

「高等学校における生徒指導上の課題について」生徒の携帯電話の利用実態」岡山県教育庁指導課 生徒指導推進室

指導主事 高山 公彦 氏

高校生の約九十七%が自分専用の携帯電話を持っている今、子ども達をネット被害から守るにはどうしたらいいのか、ブログなどからの個人情報情報の流布の状況等を教えていただきました。最近では、家庭でのパソコンや、携帯利用のルール作りが進み、学校でも情報モラルに関する取組が向上しています。しかしながら、携帯や、パソコンでいやな経験をしたことのある生徒はまだ存在しています。保護者として、携帯の問題点や、危険性を知り、被害にあった時の対処法や、加害者にならないためのモラルを教えることが必要である。そして、学校でも、情報社会を安全に生活するための危険回避の方法や、トラブルに心じた適切な対処法を学ぶ機会を設定していかねばならないと言ったことを改めて認識いたしました。

【講話】

「少年補導の現場から」岡山県警察本部 生活安全部少年補導官 坂本 福子 氏

少年の補導を長年されている経験から、厳しい最前線の現場の様子を聴かせていただきました。

喫煙・深夜徘徊の実態から、精神のバランスを保つため、正しい生活習慣を身につける事がいかに大事であるか。また、子どもに遠慮することなく善悪をはっきりと教えることにはならない。聴く耳を持つ。など保護者に望む事や、教師に望む事を教えていただきました。

平成二十四年度岡山県PTA功労者表彰状受賞者

- 表彰状受賞者(十二名) 敬称略
- 棚野 雅 祥岡山操山
 - 種谷 圭一郎(山陽女子)
 - 大佛 一男(明誠学院)
 - 網島 勝創(志学園)
 - 池内 充 浩(西大寺)
 - 河村 幸代(瀬戸)
 - 稲荷 泰瑛(岡山白陵)
 - 中田 裕之(倉敷翔南)
 - 浅尾 良彰(倉敷古城池)

感謝状受賞者(八十三名)

- 名越 直文(新見)
- 石村 修勝(山)
- 大山 光岡(山県美作)
- 人見 兼義(岡山朝日)
- 山田 登志枝(岡山操山)
- 國本 卓明(岡山大安寺)
- 三村 康彦(岡山芳泉)
- 近藤 聡司(岡山芳泉)
- 鹿室 朱美(岡山芳泉)
- 安井 哲也(岡山一宮)
- 茂成 潤岡(山城東)
- 石原 英司(岡山城東)
- 井上 美芳(岡山城東)
- 園田 弘子(岡山商科大学附属)
- 青山 知子(岡山商科大学附属)
- 武田 忠男(岡山理科大学附属)
- 蒲生 万美(岡山理科大学附属)
- 三宅 道子(岡山理科大学附属)
- 浅野 弘美(岡山理科大学附属)
- 那須 眞弓(岡山実)
- 高森 明人(岡山誠学院)
- 小坂田 裕造(岡山誠学院)
- 三宅 裕子(岡山誠学院)
- 濱岡 陽子(岡山誠学院)
- 藤島 道雄(岡山誠学院)
- 藤原 誠岡(岡山御津)
- 藤木 茂彦(岡山学芸館)
- 武久 忠彦(岡山学芸館)
- 飯田 洋介(岡山学芸館)
- 下浦 喜代子(岡山野)
- 西澤 等(岡山野)
- 川口 雅之(岡山野)
- 川原 弘子(岡山野)
- 内田 博之(岡山野)
- 血田 愛子(岡山青陵)



- 小林 史高(倉敷天城)
- 七田 ゆかり(倉敷天城)
- 梶谷 俊介(倉敷南)
- 林 万里子(倉敷南)
- 真由美(倉敷南)
- 岡田 利栄(倉敷南)
- 今井 恵子(倉敷南)
- 神庭 多香子(倉敷南)
- 高見 修一(倉敷南)
- 中川 泰秀(倉敷南)
- 江田 浩子(倉敷南)
- 中田 美恵子(倉敷南)
- 前田 正美(倉敷南)
- 内海 久美(倉敷南)
- 本行 由美(倉敷南)
- 平松 治子(倉敷南)
- 河原 雅子(倉敷南)
- 大原 久夫(倉敷南)
- 山中 典子(倉敷南)
- 山田 嘉文(倉敷南)
- 光田 嘉文(倉敷南)
- 樹平 勝弘(倉敷南)
- 黒住 房夫(倉敷南)
- 高細 光二(倉敷南)
- 樋上 栄子(倉敷南)
- 塚本 浩幸(倉敷南)
- 橋本 和英(倉敷南)
- 北村 卓治(倉敷南)
- 高橋 敦己(倉敷南)
- 越智 由美子(倉敷南)

平成二十四年度 役員

- 会長 福 武 孝 之(岡山朝日P)
- 副会長 富 吉 秀 昭(松蔭護国P)
- 杉 本 尚 平(岡山朝日T)
- 青 山 浩 司(西大寺P)
- 田 中 良 幸(倉敷翠松P)
- 坂 本 和 弘(高梁城南P)
- 岡 本 悦 宣(津山P)
- 監事 上 西 正 幸(玉野P)
- 岡 本 正 志(登岡工業P)
- 押 目 真 吾(津山工業P)
- 吉川 千恵(おかやま山陽)
- 北林 晴彦(おかやま山陽)
- 黒瀬 範彦(岡山龍谷)
- 片岡 富志江(龍谷)
- 空 富美子(龍谷)
- 高橋 成宜(高梁城南)
- 井上 孝一(高梁城南)
- 小倉 貞範(新見)
- 下木 貞吉(新見)
- 田原 正明(新見)
- 小河 俊文(新見)
- 植田 修弘(真備南)
- 牧野 秀美(宇治)
- 牧野 幸幸(宇治)
- 杉山 哲章(津山商)
- 山田 幸津(津山商)
- 早瀬 三規(津山東)
- 船津 典子(津山東)
- 大月 進平(津山東)
- 野上 忠夫(津山東)
- 山本 雅彦(津山東)
- 井上 隆士(岡山県作陽)

第54回中国・四国地区高等学校 P T A 連合会大会(徳島大会)報告

平成二十四年七月十三日(金)アスティ徳島において「心をつむぎ 志をつなぐ」とともに歩もう 子どもたちと明るい未来へ」を大会テーマに開催され、中国・四国地区から約一八〇〇名(岡山県から百七十五名)が参加しました。



【中四国地区高P連会長 挨拶】

午前中は、研究協議が行われ、県立倉敷工業高等学校 P T A から、「高校教育と P T A」を発表テーマに、体育祭・文化祭等の学校行事に参加し、共感できる P T A 活動や、生徒会と一緒に活動をしている挨拶運動などの発表がありました。高知県立高知東工業高等学校からは、進路実現に向けた模擬面接で、面接官となり、高い就職内定率に貢献している P T A 活動について、徳島県立徳島科学技術

高等学校 P T A からは、地域コミュニティ機能を取り戻すために P T A ができる事を考え、学校が実施している地域貢献活動を一緒に取り組む様子の発表がありました。

昼食後は、勝浦町の無形文化財の勝浦座による「人形浄瑠璃」や、阿波踊り振興協会選抜連による「阿波踊り」のアトラクションがありました。

最後に、キャラバン先生として有名な鳥居徹也氏を講師に迎え、「我が子に語る『働く』意味」自己肯定感を育む」と題した講演が行われました。自己否定をする子どもが多く、悲観的になりがちな心を変えるには、毎日、良いことだけ三つ書くことを習慣化する。良いことをみつめる「心の習慣」を身につけ、樂觀的に変わることによって自己を肯定する強い心を持った子供を育てて行く事ができると教わりました。そして来年開催予定の島根県へとバト

ンが渡され大会は閉幕しました。



第62回全国高等学校 P T A 連合会大会(和歌山大会)報告



【大会実行委員長 挨拶】

を表現したビデオを上映し、美しい音楽と共に宇宙での「はやぶさ」を感じる事ができました。



続いて、宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系教授 川口淳一郎氏による「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙旅行、その七年間の歩み」と題して、「はやぶさ」の打ち上げから帰還までの色々な局面による苦心や教訓、また、成果を次世代へとつなげる新たな構想や取組についての講演

●全国単位 P T A 広報紙展示
* 県立興陽高等学校 「いぶさ」
* 県立津山工業高等学校 「アカンサス」
なお、来年度の第六十三回大会は、平成二十五年八月二十二日(木)〜二十三日(金)に山口県(きらら元気ドーム)にて開催されます。

平成二十四年八月二十三日(木)〜二十四日(金)和歌山ビッグホールを主会場に開催し、全国から約一万人(岡山県から百四十名)が参加しました。「和をもって響き合え!」つれもて広げる共育の輪」をテーマとした大会では、大人も子どもも共に育つ社会、地域の方々に温かく見守られている、と子どもたちが素直に感じられる社会を目指し、その具体的方法を見つけ出す大会となりました。

基調講演では、和歌山大学 観光学部教授 尾久土正己氏による「はやぶさと和歌山大学の関わり」と題して、音と映像で「はやぶさ」

●表彰式
開会式終了後、全国会長表彰(個人・団体、役員等)が行われ、岡山県からの受賞者は次のとおりです。
【全国会長表彰】
* 個人
種谷圭一郎氏 (山陽女子高等学校 前 P T A 会長)
網島 勝氏 (創志学園高等学校 前 P T A 会長)
* 役員
中村 有作氏 (岡山県高等学校 P T A 連合会前会長)
* 団体
金光学園高等学校 やつなみ保護者会
県立高梁城南高等学校 P T A



来年は山口へ

「東日本大震災」義援金活動の継続

東日本大震災発生から一年以上が過ぎましたが、全国高等学校 P T A 連合会では義援金を募る活動を継続することとなりました。当連合会におきましても支援を継続いたしますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。